

農畜産振興事業団指定助成対象事業

# 中販連だより

2003  
Vol.3

中国地域指定生乳生産者団体 中国生乳販売農業協同組合連合会 機関誌

発行 ● 中国生乳販売農業協同組合連合会 編集・発行人 ● 鍵山信儀

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8番23号林業ビル4階

TEL082-511-3371 FAX082-511-3399



## CONTENTS

- 平成15年度乳価交渉 ● 現況と課題
- 乳価交渉を巡る情勢 ● 酪農乳業情勢交換会
- 平成14年度生乳受託販売実績他
- 平成15年度生乳受託販売実績
- 事業経過報告 ● 編集後記

# 平成十五年度

## 乳価交渉の現状と課題

### デフレと需給逼迫との均衡が焦点

平成十四年度飲用向け乳価は実に二年ぶりの引き上げ改訂を実現しましたが、乳业社別に五月雨状態での合意となり終結宣言までに六、十ヶ月もの交渉期間を要しました。

歌を忘れた力ナリアのごとく、値上げを忘れた酪農乳业界が二四年間に亘り失ったツケの大きさを痛感することとなりました。

この延長線上に十五年度の乳価交渉が待ち受けておりますが、交渉舞台の設置は前年以上に困難な状況にあります。

生産者側は生乳需給事情を背景に六月を山場とする交渉に臨むこととしております。以下、今年度の交渉を巡る現状と課題について報告いたします。

#### 一 乳业者への回答期日を指定

生乳取引契約書の規定において四月

極的な姿勢が目立ちます。このような状況の中で、中央段階の生乳取引等委員会(略称・乳取委)においては交渉進展を期するため乳业社からの回答を求めるごとに、その期限を五月二十日に設定しました。

を期首とする新年度の交渉は一月末に取引条件の更改を申し入れた段階から開始されます。

中販連においては、このルールに基づき乳业社に対し一月末に文書による値上げ要求の基本姿勢を示し、さらに、二月十日の生乳受託販売委員会の決議事項を受けて二月十二日付け文書にて

①取引用途の整理(飲用牛乳、学乳、醸乳、生クリーム、チーズ、加工原料乳仕向けの六用途)②六用途のうち主要用途である飲用牛乳向け基本乳価を一〇〇円/kgに統一する旨の前年度と同様の要求内容を提示して本格交渉に臨むこととしました。

これに対し、乳业者の反応は原料乳調達事情及び前年度値上げ財源の回収状況等により各様ですが、川下に対する納入・小売価格引き上げの必要性とその実現の困難性のジレンマに揺れており、中国地区のみならず全国的に“デフレ”をキーワードとして交渉に消

#### 二 指定団体の有利販売に過敏な反応

乳业者からの回答提示に当たり、中販連としては上記の用途整備及び一〇〇円統一乳価の他、今年度の交渉を巡る課題として①飲用牛乳市場正常化への取組について②指定団体の有利販売指向について③季節別取引乳価の設定について…

について、以上の3項目への見解を求めるごとにしました。

中販連に寄せられた回答を集約すると、

(1)用途別取引の推進について…賛成(2)要求乳価について…現状の市場環境からは値上げは困難(希少回答ではあるが数量確保のために乳価への代償に理解を示す乳业もある)

(3)飲用牛乳市場正常化について…○デフレ経済下で量販店・消費者に値上げへの理解は困難

○全ての量販店の理解は困難…ディス

カウントストア(常時安売り店)の位置付けが課題

○牛乳事業は不採算構造…乳価原資造りに至らず

(4)指定団体の有利販売指向について…乳业の最大関心事項

○何を持って有利販売とするのか定義が不透明

○年間の配乳を通じて有利・不利の判断をすべき

○過去の取引経過も尊重して判断すべき…相互信頼関係の持続

(5)季節別取引乳価の設定について…賛否分かれること

○需要期の供給姿勢が業界の利益につながる

○西南暖地における夏季増産は乳牛の生理面で負荷が大きくなる。夏季分娩の継続は困難。季節別取引乳価の効果は希薄。

○季節別乳価は生産者団体内部で運営すべきであり乳业者との取引には馴染まない

回答状況を乳业社数で集約するならば以上のとおりとなります。

このことからみて、今年度の交渉も長期化の要素を孕んでおります。

### 三 全国相場作りは六月が正念場

今年度乳価要求の特徴として、生産者側は前年度の要求と決定との間の格差が大きいことから、積み残し・分を要求する指定団体と、中販連のように統一乳価の基本姿勢を崩さず継続要求する指定団体との二色に大別されます。

このことは、生産者段階における統一要求水準の設定及び全国連先行型も困難な事態をもたらし、交渉は指定団体と全国連との連携による同時並行型で臨むこととなりました。

しかし、乳価交渉における乳業側のリーダー格となるべき大手乳業の回答は中販連への回答同様に全国的にも据え置きの域を出ておりません。

交渉には相場作りが必要なことから、乳取委は三役を中心に乳業者に対して懸命の働きかけが行われております。早期決着については乳業側も理解を示していることから交渉は生乳需給が逼迫期に突入する六月が正念場となります。

五十五八十銭/kgの範囲でブロック間格差をもたらし、森永乳業は需要期加算乳価と言う異質的回答となり相場形

成に混迷を来たしました。

今年度もリーダー格の両社の同一歩調は想定出来ない状況にあり、事実、森永乳業は今年六～十一月の六ヶ月間

を需要期として一円/kgの加算対応を図りたい意向にあります。

このことは一見、乳価に言及した提

示といえますが、季節別取引乳価の設定を指向する同社はこの対応により前年同期から五十銭引き上げた乳業者

と同水準に並ぶものです。(前年度：森永は九～十一月に一円加算。他社は十月から五十銭以上の引き上げ)

以上のことから、当面は中央段階における六月の相場作りに関心が集まりますが、今年度の場合、中央情勢を受け詰めの交渉を行う指定団体交渉が従来にも増して重要な位置付けとなります。

厳しい乳価情勢ではありますが、指定団体として全力でこの難局に当たる所存であります。そして、このような局面こそが管内生産者及び会員組織の連帯感の強化をもたらすものと確信いたるものであります。

### 四 指定団体に比重がかかる今年度 交渉

## 乳価交渉を巡る情勢

### 一 酪農経営部門…コストアップ要

因 (1)飼料価格上昇基調

シェアー一七% 森永八二万L(全  
国シェアー一〇%)

(2)初妊牛相場高原状態

(2)日本ミルク「ミユニティー 不  
振のスタート

### (3)BSE対策の強化…死亡牛検査

開始

### (4)糞尿処理施設の設置

施設設置費3・6円/kg中酪試算

…ランニングコスト含まず

### 二 生乳需給部門

(1)生乳生産…都府県の停滞長期化、

北海道の増加率も一巡傾向

(2)生乳需要量…飲用需要は前年並

み…はつ酵乳需要に一巡傾向

(3)生乳需給…都府県での逼迫、夏

季の北海道依存更に高まる

### (4)課題

①堅調な飲用需要と過去最高の在庫水準にある脱脂粉乳とのミスマッチ

…生乳不足と脱粉過剰、脱粉過剰処理対策(一万L)

### 三 乳業経営部門…優勝劣敗

②都府県における需要期の増産対策

(1)十四年度決算…明治・森永は売上高、収益とも過去最高

上高、収益とも過去最高

### 四 乳価交渉部門

(1)要求に対する乳業社回答(五月二十日段階)…大部分が現行据え置き回答

(2)トップリーダーの動向見極め

(3)前年度値上げが加重負担…卸価格転嫁出来ず

(4)交渉促進(事態打開)戦略

①北海道の需要期の都府県送乳にかかる追加コストの回収

②都府県における需給事情を背景とした有利販売への取組み

(3)交渉状況

…六月十日 乳取委三役会

日本Mコミニュティーとの協議

…六月十七日 乳取委三役会

明治・森永酪農担当役員との協議

…六月十七日 乳取委三役会

☆六月を山場とする交渉展開…乳取

## 「酪農乳業情勢交換会」開催される

去る、五月三十一日に広島市中区のセントラル・ホテルにおいて、中乳販連の理事会・生乳受託販売委員会に引き続い、午後二時過ぎから域内岡山県・広島県を中心とした、主要乳業十二社、十七名の出席を得て「酪農乳業情勢交換会」を開催いたしました。

昨年度末から鋭意取り組んでいるものの、膠着状態に陥っている今年度乳価交渉の現状を打開するため、初めての試みとして域内乳業者と酪農生産者を中心とした中販連生乳受託販売委員との、乳価問題を巡る意見交換の場として開催致しました。席上、中乳販連山崎会長の「過去、乳が余り需給が緩和する中で乳価は引き下げられてきた。乳が足りず需給が逼迫している現状、今度は乳価を上げていただく番だ。」との挨拶を皮切りに、乳価問題を巡る両者の立場や考え方の違いについて活発な意見が出されました。この協議及び中央動勢を踏まえ中販連としては六月を山場と位置付けた交渉を押し進めてまいります。



**加工原料乳限度数量の  
一次配分決まる**

農水省生産局は五月二十七日付けで、本年度加工原料乳限度数量を一次配分しました。中販連の一次配分数量は一〇、〇三七となりました。二次配分は加工原料乳の発生状況をみて、再配分されます。

## 第3回通常総会

開催日 7月25日（金）  
場 所 広島市中区上八丁堀8-23  
林業ビル8階



退職（三月三十日付け）  
新任（四月一日付け）  
総務課 福本玲子（広島県酪農協）  
総務課 大類路子

## 職員人事異動

### 「各県酪政連・指定団体 役員懇談会」の開催

去る六月六日、岡山市のホテル第一インにおいて、有元委員長（岡山・日本酪政連副委員長）を始め各県酪政連の代表者と、本会役員の懇談会が開催されました。

山崎会長・有元委員長の挨拶をうけ、中販連から乳価交渉の進捗状況や生乳の需給状況を報告したあと、今後の乳価交渉の進め方や、酪政連の支援体制等について話し合われました。

さらに、平成十六年下期から本格実施の畜産環境整備問題を視野に入れた、今後の酪農生産基盤の確保に向けた対応策についても、活発な意見交換が行われました。

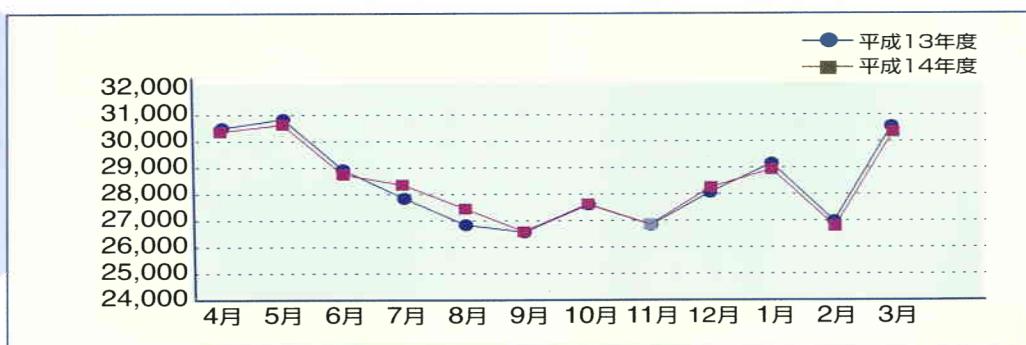
平成14年度 会員別  
生乳受託販売  
実績

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		累計	
	(4月～6月)	前年比	(7月～9月)	前年比	(10月～12月)	前年比	(1月～3月)	前年比	(数量)	前年比
大山乳業農協	14,978,544.8	102.8	13,994,323.4	104.3	13,983,086.7	102.2	14,583,864.7	100.3	57,539,819.6	102.4
全農島根県本部	16,733,288.2	100.3	15,406,992.3	101.6	15,337,072.7	99.9	16,052,423.1	99.1	63,529,776.3	100.2
岡山県酪連	34,766,653.5	99.2	31,286,629.8	100.5	31,474,125.4	99.7	33,165,822.0	100.4	130,693,230.7	99.9
広島県酪農協	16,856,878.5	97.1	16,165,688.2	98.3	15,969,541.2	98.4	16,157,340.9	97.8	65,149,448.8	97.9
山口県酪農協	6,688,447.0	99.9	6,026,137.0	105.9	6,016,473.0	99.7	6,429,399.0	98.0	25,160,456.0	100.7
合 計	90,023,812.0	99.6	82,879,770.7	101.3	82,780,299.0	99.9	86,388,849.7	99.5	342,072,731.4	100.1

平成14年度  
用途別販売  
実績

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		累計	
	(4月～6月)	前年比	(7月～9月)	前年比	(10月～12月)	前年比	(1月～3月)	前年比	(数量)	前年比
飲用牛乳向け	76,120,692.9	97.9	71,085,645.6	99.8	70,066,606.4	98.9	71,633,860.2	95.8	288,906,805.1	98.8
はっ酵乳等向け	9,942,832.1	119.5	9,859,035.1	113.7	9,304,085.6	111.1	9,082,113.5	105.2	38,158,066.3	112.3
特定乳製品向け	2,707,450.0	98.4	1,224,122.0	111.6	2,412,887.0	95.8	4,315,983.0	101.6	10,660,442.0	100.5
生クリーム等向け	1,200,269.0	82.7	661,284.0	81.8	946,820.0	91.4	1,340,629.0	96.3	4,149,002.0	88.5
チーズ向け	52,568.0	102.1	49,684.0	91.6	49,900.0	92.6	46,264.0	96.0	198,416.0	95.5
総受託販売乳量	90,023,812.0	99.6	82,879,770.7	101.3	82,780,299.0	99.9	86,388,849.7	99.5	342,072,731.4	100.0

中国地方の  
生乳生産量の  
推移



平成14年度  
補助事業  
実績

事業名	金額	事業名	金額
緊急優良経営後継牛資源確保対策事業(4/3期)	161,380,425	広域生乳需要調整助成金交付事業	157,836,837
土地利用型酪農推進事業	44,369,895	生クリーム等需要拡大事業	14,979,596
酪農村・都市交流促進地域事業	4,573,553	畜産振興総合対策事業	1,080,000
生乳取引・流通適正化促進事業	1,319,719	団体再編整備支援対策事業	19,954,615
広域生乳需給調整体制整備事業	346,931	加工原料乳経営安定対策事業	19,775,032
生乳需要適応構造調整対策事業	3,250,200	加工原料生産者補給交付金	117,264,851

平成15年度

## 生乳受託販売実績

	4月	前年比	5月	前年比	累計	前年比
大山乳業農協	5,282,894.8	105.7	15,443,421.1	106.0	10,726,316.0	105.9
全農島根県本部	5,670,458.7	100.5	5,763,321.5	100.7	11,433,780.2	100.6
岡山県酪連	11,459,912.7	96.6	11,511,273.6	96.8	22,971,186.3	96.7
広島県酪農協	5,578,397.9	98.3	5,682,857.0	68.7	11,261,254.9	98.5
山口県酪農協	2,245,887.0	98.5	2,293,959.0	100.1	4,539,846.0	99.3
合 計	30,237,551.1	99.3	30,694,832.2	99.6	60,932,383.4	99.5

平成15年度

## 用途別販売実績

	4月	前年比	5月	前年比	累計	前年比
飲用牛乳向け	25,155,455.7	98.8	25,792,610.9	99.4	50,948,066.6	99.1
はつ酵乳等向け	3,292,885.4	99.5	3442,529.4	100.4	6,735,414.8	100.0
特定乳製品向け	1,292,075.5	109.6	1,033,508.0	104.4	2,325,583.0	107.2
生クリーム等向け	479,780.0	99.7	409,540.0	96.1	889,320.0	98.0
チーズ向け	17,355.0	101.8	16,644.0	92.2	33,999.0	96.9
総受託販売乳量	30,237,551.1	99.3	30,694,832.3	99.6	60,932,383.4	99.5

## ▼事業経過報告

(平成十五年三月六日)

三月十一日	中国地区飲用牛乳流通問題等協議会(広島市・広島セントラルホテル)	五月二十六日	中国地区需給調整会
三月十三日	第六回指定団体機能整備検討委員会(林業ビル)	五月二十七日	需給調整等委員会(東京)
三月二十四日	会員担当者会(林業ビル)	五月二十八日	全農協理事会・総会(東京)
三月二十六日	中国地区需給調整会	五月二十九日	酪農乳業情報勢換会(広島市・広島セントラルホテル)
三月二十六日	指定団体実務担当者会(東京)	五月三十日	酪農乳業情報センター推進会議(東京)
三月二十八日	第七回指定団体機能整備検討委員会(林業ビル)	六月一日	監査(林業ビル)
四月三日	理事会(林業ビル)	六月四日	酪農乳業情報センター推進会議(東京)
四月七日	乳価取引委員会(東京)	六月十日	生乳取引等委員会(東京)
四月二十二日	会員担当者会(林業ビル)	六月十一日	酪農乳業情報センター専門委員会(東京)
四月二十四日	中国地区需給調整会	六月十七日	生乳取引等委員会(東京)
五月八日	理事会(林業ビル)		
五月十六日	乳価取引委員会・全普		
五月二十日	乳価取引委員会(東京)		
五月二十一日	広域生乳検査体制整備部会(東京)		
五月二十三日	会員担当者会(林業ビル)		

## 編集後記

今年は5月末から、早くも台風が日本に接近。さて、今年の乳価交渉の風向きはどうなのか。フォローの風にのり、早期合意にいたりたいものです。

